

全体	目次	前回	次回	略解
----	----	----	----	----

 更新 Time-stamp: "2004/06/02 Wed 12:11 hig"

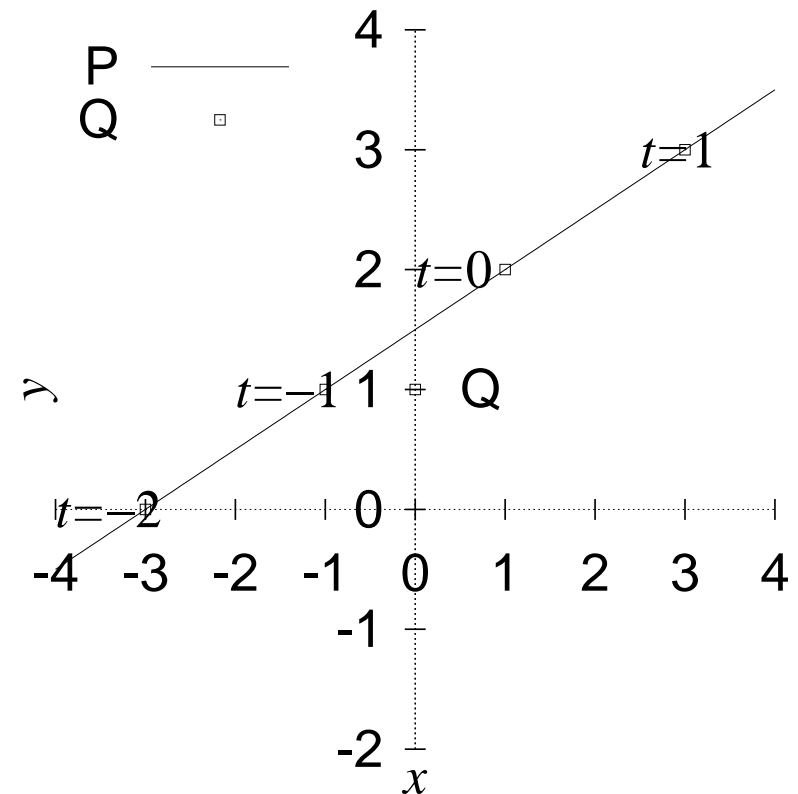
quiz 略解 8

$$1. \mathbf{r}_P(-2) = \begin{pmatrix} -3 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$$

$$2. (x(t) =) 2t + 1 = 0 \text{ を解いて, } t = -\frac{1}{2}.$$

$$3. x = 2t + 1, y = t + 2 \text{ から } t \text{ を消去して, } y = \frac{1}{2}x + \frac{3}{2}, z = 0.$$

$$4. \text{ 距離の 2 乗は } f(t) = 5t^2 + 6t + 2. \\ f'(t) = 0 \text{ を満す } t = -\frac{3}{5} \text{ で最小になり, このときの距離は } \sqrt{f(-\frac{3}{5})} = \frac{\sqrt{5}}{5}.$$



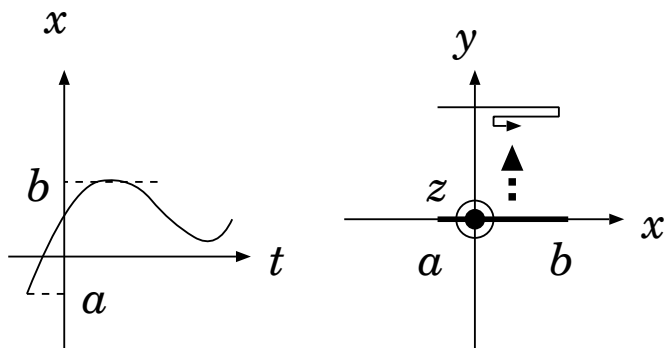
6. 速度ベクトルと加速度ベクトル

6.1 1次元の運動

x -軸の式は $y = z = 0$ だから, x -軸の上だけを運動する物体の位置ベクトルは,

$$\mathbf{r}(t) = \begin{pmatrix} x(t) \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} \quad (65)$$

となり, ただ1つの関数 $x(t)$ だけで表わせる. このように, 位置ベクトルの1成分だけで表わせる運動を1次元の運動という. 以下, しばらく1次元の運動を考える



1次元の運動の t - x グラフと軌跡の関係

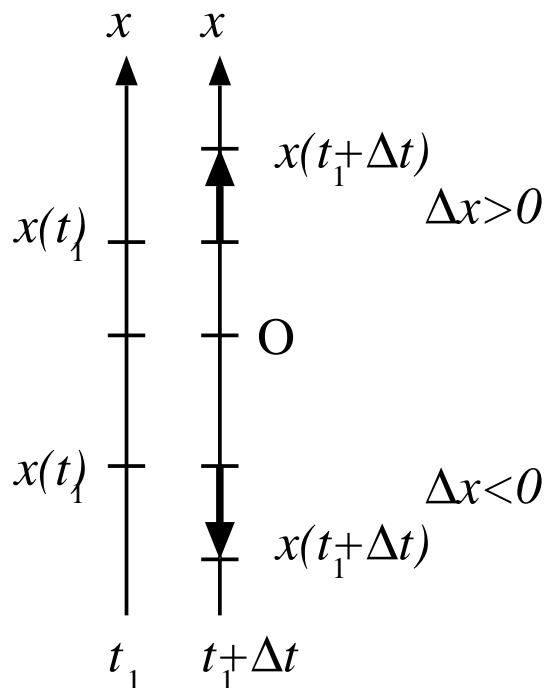
6.2 1次元の速度

香中 p.26

時刻 t_1 に座標 $x(t_1)$ にあった物体が, 時刻 $t_1 + \Delta t$ には座標 $x(t_1 + \Delta t)$ まで移動していたとする. 座標の差 (**変位**ともいう) は

$$\Delta x = x(t_1 + \Delta t) - x(t_1). \quad (66)$$

注: Δt は $\Delta \times t$ じゃない. Δt (デルタティール) は短い時間を表わす変数.



関係

$$(\text{距離}) = (\text{速さ}) \times (\text{時間}) \quad (67)$$

から,

$$(\text{時刻 } t_1 \text{ から } t_1 + \Delta t \text{ までの平均速度}) = \frac{x(t_1 + \Delta t) - x(t_1)}{(t_1 + \Delta t) - t_1} = \frac{\Delta x}{\Delta t}. \quad (68)$$

瞬間の速度を求めるには, $\Delta t \rightarrow 0$ の極限を考えればよい.

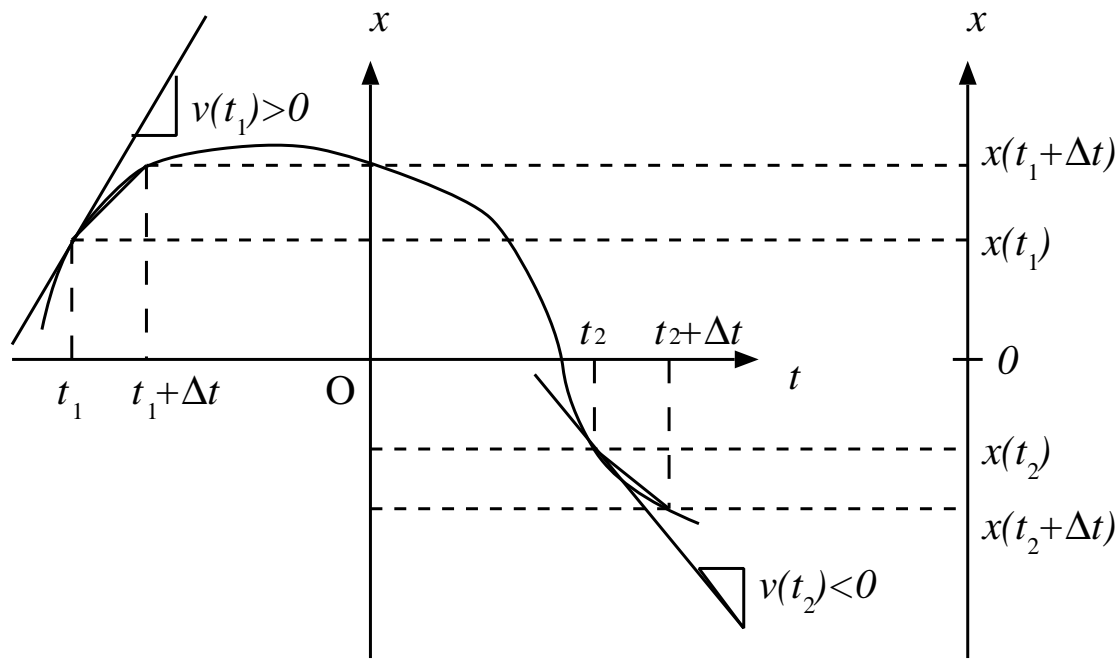
$$\text{速度 } v(t_1) = \frac{dx}{dt}(t_1) = \lim_{\Delta t \rightarrow 0} \frac{\Delta x}{\Delta t}. \quad (69)$$

要するに, 座標 $x(t)$ の t についての微分 (導関数) $v(t) = \frac{dx}{dt}(t)$ を時刻 t における物体の **速度** という.

本や人によっては, $\frac{dx}{dt}(t)$ を, $x'(t), \dot{x}(t)$ などと書いてあることもある.

バックしてるときは 速度は 41 .

例 アニメ



速度 $v(t_1)$ は, $t = t_1$ における $x(t)$ の接線の傾き.

v	t - x グラフ	アニメ
$v > 0$	右上がり	42
$v < 0$	右下がり	43
$v = 0$	水平	44

6.3 1次元の加速度

香中 p.27

時刻 t_1 に速度 $v(t_1)$ だった物体が, 時刻 $t_1 + \Delta t$ には速度 $v(t_1 + \Delta t)$ に変化していたとする. 速度の変化分は

$$\Delta v = v(t_1 + \Delta t) - v(t_1). \quad (70)$$

関係 (変化率) = $\frac{(\text{変化分})}{(\text{時間})}$ から,

$$\begin{aligned} & (\text{時刻 } t_1 \text{ から } t_1 + \Delta t \text{ までの速度の平均変化率}) \\ &= \frac{v(t_1 + \Delta t) - v(t_1)}{(t_1 + \Delta t) - t_1} = \frac{\Delta v}{\Delta t}. \end{aligned} \quad (71)$$

瞬間の変化率を求めるには, $\Delta t \rightarrow 0$ の極限を考えればよい. 速度の瞬間の変化率のことを

$$\text{加速度 } a(t_1) = \frac{dv}{dt}(t_1) = \frac{d}{dt} \left(\frac{dx}{dt} \right) (t_1) = \frac{d^2x}{dt^2}(t_1) \quad (72)$$

という. 要するに, **加速度** は速度の 1 階微分, 座標の 2 階微分.

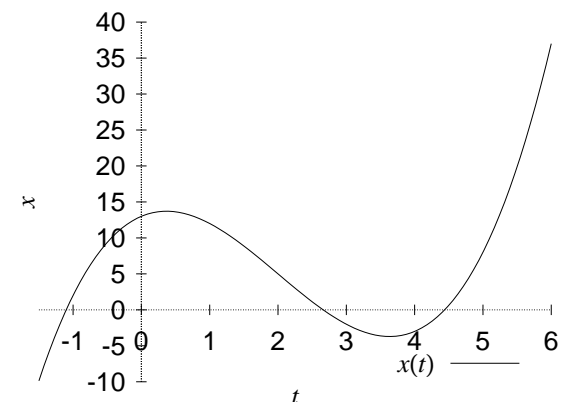
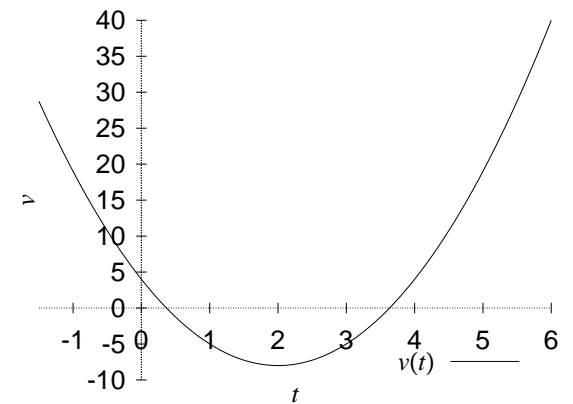
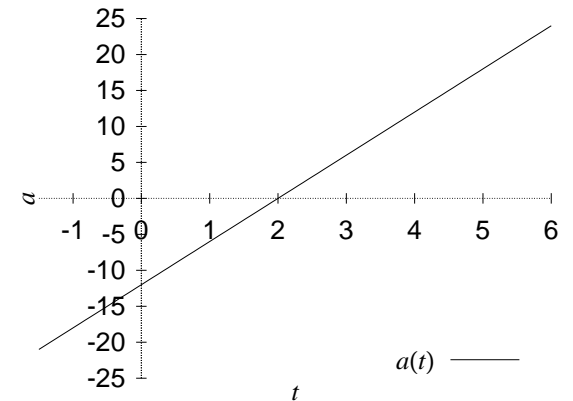
本や人によっては, $a(t) = \frac{d^2x}{dt^2}(t)$ を, $x''(t), \ddot{x}(t)$ などと書いてあることもある.

a	t 対 v	t 対 x	アニメ
$a > 0$	右上がり	45	速度増加
$a < 0$	右下がり	46	速度減少
$a = 0$	水平	47	速度一定

バックで加速してるときは 加速度

は 48 .

例 アニメ



再び, 3次元を運動する物体の位置ベクトル

$$\mathbf{r}(t) = \begin{pmatrix} x(t) \\ y(t) \\ z(t) \end{pmatrix} = x(t)\mathbf{i} + y(t)\mathbf{j} + z(t)\mathbf{k} \text{ を考えよう.}$$

6.4 速度ベクトル

香中 p.30

時刻 t_1 に位置ベクトル $\mathbf{r}(t_1)$ にあった物体が, 時刻 $t_1 + \Delta t$ には位置ベクトル $\mathbf{r}(t_1 + \Delta t)$ まで移動していたとする.

$$\Delta t \text{ 秒間の変位ベクトル } \quad \Delta \mathbf{r} = \mathbf{r}(t_1 + \Delta t) - \mathbf{r}(t_1) \quad (73)$$

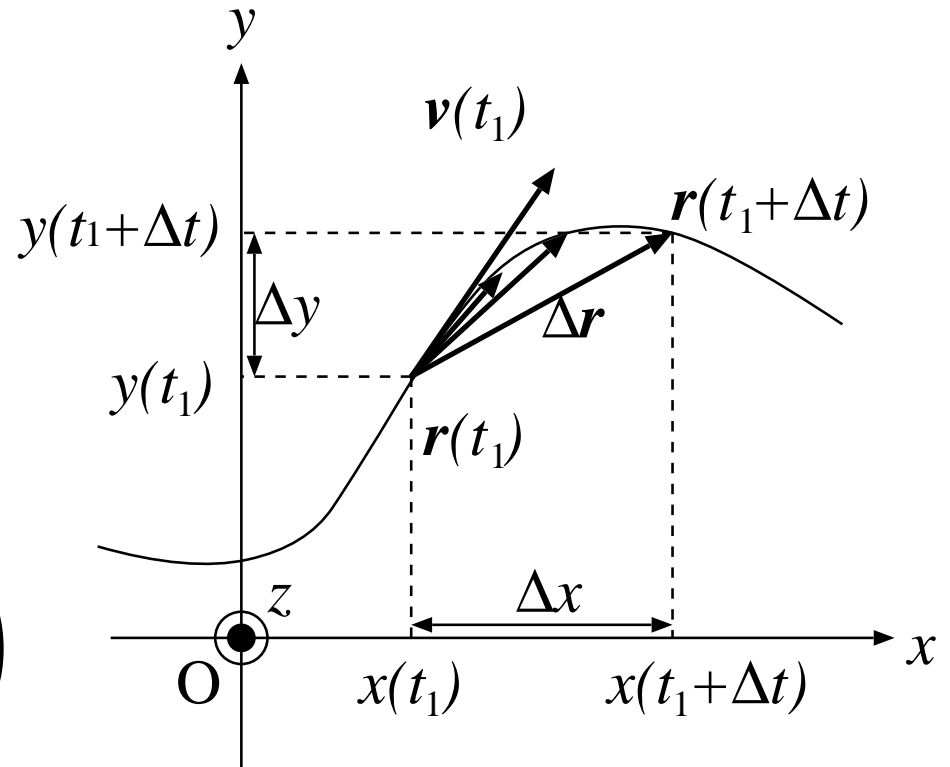
$$= (\Delta x)\mathbf{i} + (\Delta y)\mathbf{j} + (\Delta z)\mathbf{k} \quad (74)$$

$$\Delta t \text{ 秒間の平均速度ベクトル } \quad \frac{\Delta \mathbf{r}}{\Delta t} = \frac{\mathbf{r}(t_1 + \Delta t) - \mathbf{r}(t_1)}{\Delta t}. \quad (75)$$

$$= \frac{\Delta x}{\Delta t}\mathbf{i} + \frac{\Delta y}{\Delta t}\mathbf{j} + \frac{\Delta z}{\Delta t}\mathbf{k} \quad (76)$$

時刻 t_1 における (瞬間) 速度ベクトル $\mathbf{v}(t_1)$ を求めるには, $\Delta t \rightarrow 0$ の極限を考えればよい.

$$\begin{aligned}
 \mathbf{v}(t_1) &= \lim_{\Delta t \rightarrow 0} \frac{\mathbf{r}(t_1 + \Delta t) - \mathbf{r}(t_1)}{\Delta t} \\
 &= \lim_{\Delta t \rightarrow 0} \left(\frac{\Delta x}{\Delta t} \mathbf{i} + \frac{\Delta y}{\Delta t} \mathbf{j} + \frac{\Delta z}{\Delta t} \mathbf{k} \right) \\
 &= \frac{dx}{dt}(t_1) \mathbf{i} + \frac{dy}{dt}(t_1) \mathbf{j} + \frac{dz}{dt}(t_1) \mathbf{k} \\
 &= \begin{pmatrix} \frac{dx}{dt}(t_1) \\ \frac{dy}{dt}(t_1) \\ \frac{dz}{dt}(t_1) \end{pmatrix}.
 \end{aligned}
 \tag{77}$$



要するに成分ごとに微分すればおっけー.

一般に、時間の関数であるベクトル (ベクトル関数) $A(t)$ があつたとき、

$$\lim_{\Delta t \rightarrow 0} \frac{A(t_1 + \Delta t) - A(t_1)}{\Delta t} = \begin{pmatrix} \frac{dA_1}{dt}(t_1) \\ \frac{dA_2}{dt}(t_1) \\ \frac{dA_3}{dt}(t_1) \end{pmatrix} \quad (78)$$

を $A(t)$ の $t = t_1$ における微分といい、 $\frac{dA}{dt}(t_1)$ と書く。

つまり、いまは $v(t) = \frac{dr}{dt}(t)$ 。

優柔不断モード: こう思ったほうがわかりよい人もいる?

$$v(t_1) = \lim_{\Delta t \rightarrow 0} \frac{r(t_1 + \Delta t) - r(t_1)}{\Delta t} = \lim_{\Delta t \rightarrow 0} \begin{pmatrix} \frac{x(t_1 + \Delta t) - x(t_1)}{\Delta t} \\ \frac{y(t_1 + \Delta t) - y(t_1)}{\Delta t} \\ \frac{z(t_1 + \Delta t) - z(t_1)}{\Delta t} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \frac{dx}{dt}(t_1) \\ \frac{dy}{dt}(t_1) \\ \frac{dz}{dt}(t_1) \end{pmatrix}$$

速さ

$$\text{時刻 } t_1 \text{ における速さ} = \left| \frac{d\mathbf{r}}{dt}(t_1) \right|. \quad (79)$$

- 49 はベクトル. 大きさと向きがある.
- 50 はスカラー. 速度の絶対値. 大きさだけ.

アニメ <http://hig3.net> > i/V/EZ アプリ > いろんな運動

速度ベクトルの性質

- 速度ベクトルの向きは 51 . (瞬間の向き)
- 速度ベクトルの大きさは, 速さに比例. (瞬間の速さ)
- 物体が静止 \Leftrightarrow 速度ベクトルが 52 \Leftrightarrow 速さが零.

6.5 加速度ベクトル

香中 p.30

$$\begin{aligned} \text{時刻 } t_1 \text{ における加速度ベクトル } \mathbf{a}(t_1) &= \frac{d\mathbf{v}}{dt}(t_1) \\ &= \frac{d}{dt} \left(\frac{dx}{dt}(t_1)\mathbf{i} + \frac{dy}{dt}(t_1)\mathbf{j} + \frac{dz}{dt}(t_1)\mathbf{k} \right) \\ &= \frac{d^2x}{dt^2}(t_1)\mathbf{i} + \frac{d^2y}{dt^2}(t_1)\mathbf{j} + \frac{d^2z}{dt^2}(t_1)\mathbf{k} = \begin{pmatrix} \frac{d^2x}{dt^2}(t_1) \\ \frac{d^2y}{dt^2}(t_1) \\ \frac{d^2z}{dt^2}(t_1) \end{pmatrix}. \end{aligned} \tag{80}$$

やっぱり成分ごとに微分すればおっけー。このベクトルを、

$$\mathbf{a}(t_1) = \frac{d^2\mathbf{r}}{dt^2}(t_1) \quad \text{と書く.}$$

アニメ <http://hig3.net> > i/V/EZ アプリ > いろんな運動

例題 13

物体が, $r(t) = \begin{pmatrix} t + \sin t \\ 2t + 2 \sin t \\ \sqrt{5} \cos t \end{pmatrix}$ で運動している.

1. 速度ベクトル, 加速度ベクトルを求めよう.
2. 静止する時刻を求めよう.
3. 速さが最大となる時刻を求めよう.

微分の計算方法忘れた人は **香中 2.2** で復習!

quiz 9

物体が, $r(t) = \begin{pmatrix} 3t^2 - 4 \\ t^3 - 8 \\ -2t + 3 \end{pmatrix}$ で運動している.

1. 速度ベクトル $v(t)$, 加速度ベクトル $a(t)$ を求めよう.
2. 速さが最小となる時刻を求めよう.
3. 速さが最小である時刻における速度と加速度を求めよう.

55

きょうのメッセージ

56

$$\frac{d}{dt} \mathbf{A}(t) = \frac{d}{dt} \begin{pmatrix} A_1(t) \\ A_2(t) \\ A_3(t) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \frac{dA_1}{dt}(t) \\ \frac{dA_2}{dt}(t) \\ \frac{dA_3}{dt}(t) \end{pmatrix} \quad (81)$$

きょうの i/V/EZ アプリ



<http://hig3.net> > i/V/EZ アプリ > いろんな運動

数検団体受験受付中です!

1-508 に置いてある郵便振替用紙で郵便局に申し込むだけです。それ以外の手続きは不要です。詳しい案内も 1-508 で配布しています。

今日, 特別講義あります!

年金数理コンサルタントの役割 5 講時, 4-201.

全体	目次	前回	次回	略解
----	----	----	----	----